

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	臨時庁議	
開催日時	令和8年6月12日（金）午後1時22分から 午後1時33分まで	
開催場所	朝霞市役所 別館3階 市長公室	
出席者の職・氏名	【出席者】 松下市長、宇野副市長、二見教育長、又賀市長公室長、千葉危機管理監、濱総務部長、金子市民環境部長、赤澤福祉部長、小野澤健康部長、玄順こども部長、山崎都市建設部長、塩味審議監兼まちづくり推進課長、稲葉会計管理者、田中上下水道部長、森田議会事務局長、関口学校教育部次長兼教育総務課長、堀川生涯学習部長、奥山監査委員事務局長 （担当課） 村沢政策企画課ファシリティマネジメント推進室長、牧原同課同室主任、中谷総務部次長兼財産管理課長 （事務局） 櫻井市長公室次長兼政策企画課長、長谷川同課主幹兼課長補佐、染野同課政策企画係主事	
欠席者の職・氏名	欠席者なし	
議題	1 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について（案）	
会議資料	（議題1） ・【資料1】市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について（案）	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	

傍聴者の数	—
その他の必要事項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【開会】

【議題】

1 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について（案）

【説明】

（担当課：村沢政策企画課ファシリティマネジメント推進室長）

市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について（案）を資料1に基づき、説明する。

本工事については、入札を執行したものの、応札する事業者が一者もいなかったため、入札不調に終わる結果となった。この事態を重く受け止め、財産管理課と早急に要因の分析と今後の対策について検討を重ね、その結果を踏まえて、公共施設整備全体の対応案について取りまとめたので説明する。

はじめに、1. 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調についてである。

（1）入札不調の主要因として、入札不調に終わった背景について、入札資格のある事業者へヒアリング調査を実施した。その結果、次の実情が明らかになった。

①中東情勢に伴う原油由来資材への影響だが、中東情勢の緊迫化及び長期化の煽りを受け、原油由来の建築材料、特に屋上や外壁等に使用する「防水材」などの流通において、入荷の見通しが極めて不透明な状況に陥っている。

②材料価格の高騰だが、原材料費や物流コストの高騰が収まる気配が見えず、事業者が将来的なコスト変動リスクを抱えきれない状態が続いている。

これらの要因が重なり、事業者が「適正な工期での施工」や「採算性の確保」を見通すことが困難となり、結果として入札へのエントリーを躊躇せざるを得なかったと考えられる。

市としては、このまま設計条件を据え置いた上で再入札を強行したとしても、「中東情勢による建築資材の流通の滞りにより、いたずらに工期が延び、結果として経費がさらに高騰する」といった重大なリスクをはらんでいると捉えている。

これらのことを踏まえ、大切な財源を効率的かつ安全に執行する観点から、今後の対応について検討した。

（2）市としての対応として、① 市庁舎長寿命化改修工事を「一旦見送り」とする。

市庁舎の長寿命化改修工事については、工期延長に伴う諸経費の負担増が考えられること、原油由来の建築資材の一時的な価格高騰の影響を受けること、設計条件を据え置きのまま再入札しても更なる不調のリスクがあること、これらの理由から一旦発注を見送り、中東情勢をはじめとする国際情勢の動向を注視する必要があると考える。

②優先度の高い改修項目は切り分けて発注を検討する。

市庁舎の機能維持や安全確保の観点から、優先度が高く、改修が必要な一部の工事については、全体計画から切り離し、部分的な「切り分け発注」を検討し、市庁舎の行政機能を維持する。

以上が、市庁舎長寿命化改修工事に関することである。

次に、2. 建物系個別施設計画の方針についてである。

（1）として建物系個別施設計画に位置付けられるスケジュールを全体的に後ろにスライドさせる。

今回の事態は市庁舎長寿命化改修工事だけに留まる問題ではないと認識しており、現に、6月5日に「中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事」はスライド条項

による請負代金額変更の協議が書面により提出された。

よって、中東情勢に伴う建築資材の影響を受けると想定される「建物系公共施設マネジメント実施計画」及び「学校施設長寿命化計画」については、先述したリスクを回避するため、これら計画に位置付けられ、今年度予定していた他施設の設計等の業務も併せて後ろにスライドさせる。

そのことに伴い、両計画に位置付けられるスケジュールに関しても、全体的に後ろにスライドすることとなる。

(2) 今後の対応だが、市庁舎と同じく、他施設についても、機能維持や安全確保の観点から改修が必須となる改修項目は、切り分けて工事を検討していくこととする。また、その他の大規模な改修工事等について、状況を鑑み検討する。

今後については、国際情勢の動向を注視し、安定した段階で適切な発注等ができるように国の動向や市場調査を継続して実施する。

今回の判断は、予測困難な国際情勢の急変に対応し、市財政への二次被害や工事の長期停滞という最悪のシナリオを避けるための選択である。繰り返しになるが、延期となる各施設については、安全管理に万全を期しつつ、情勢が安定した段階で速やかに適切な発注へと舵を切れるよう、引き続き市場調査と準備を進めていく。

説明は以上である。

(櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

先ほど説明で触れた、建物系公共施設マネジメント実施計画と学校施設長寿命化計画に係るスケジュールの「後ろへのスライド」については、社会情勢等を踏まえながら、1年ごとに判断していきたいと考えている。

また、建物系と学校施設の2つの計画以外の、道路、橋梁や水道などのインフラ系の長寿命化計画については、現時点で入札不調も発生していないことから、計画どおり進めることとするが、こちらにも影響が大きく及ぶような事態となったら、状況に応じた対応を取る必要性があると考えている。

最後に、今後のスケジュールについては、対応案について本日承認いただけたら、市長決裁により決定したい。

(又賀市長公室長)

本件については、政策調整会議で審議しているため、審議結果を報告する。

5月26日に開催した政策調整会議では、受注停止している材料がある場合、中央公民館・コミュニティセンターの改修工事を含め、今後の工事について影響が出てくると考えてよいか、との質疑に対し、影響が出てくると想定している、との回答があった。

次に、材料などが入らず工期が伸びる場合、どのくらいの経費負担が生じるのか、との質疑に対し、中央公民館の場合、足場を組んでいるためリース代などを含んで試算を行った結果、工期が1か月伸びるごとに700万から1,000万程度の経費が生じる可能性がある、との回答があった。

次に市庁舎について、仮に設計条件などを見直して落札したとしても、現在の状況を踏まえると工期の延長が想定される。規模が大きくなればなるほど、負担も大きくなると考えてよいか、との質疑に対し、中央公民館の工事費に対して、1.5倍程度の設計金額であることから、中央公民館の試算額よりも高い経費が発生する可能性がある、との回答があった。

これらの質疑の結果、今後の社会情勢等も踏まえると、各計画上の他施設にも影響を及ぼすことが考えられるため、全体的に今後の対応を検討することとした。

また、本日開催した政策調整会議では、スケジュールを全体的に後ろにスライドさせ

るとあるが、具体的なリストはあるのか、との質疑に対し、各建物系、学校系の計画に位置付けているスケジュール全体をスライドさせるので、具体的なリストはない、との回答があった。

次に、建物だけでなく、各部で工事や改修を予定する事業の影響については加味されるのか、との質疑に対し、個別で改修など必要となる場合については、政策企画課や財政課と協議しながら、対応することを考えている。またインフラ関係については、現在入札不調はないので、予定どおり進めることとするが、この先の社会情勢等を踏まえ、状況に応じた対応を取りたいと考えている、との回答があった。

次に、全体的に後ろにスライドさせる場合、期間などは決まっているのか、との質疑に対し、長期的にスライドすることは考えていない。1年ごとに判断して進めていきたい、との回答があった。

次に、今後のスケジュールについてはいかがか、との質疑に対し、6月16日に全員協議会の開催通知を発送し、6月26日の議会閉会后に全員協議会を開催する方向で考えている、との回答があった。

次に、議決を得た工事の工期延長は、再度議決は必要なのか、との質疑に対し、工期延長については、議決は不要となる、との回答があった。

次に、一部改修工事を行った施設については、建物系公共施設マネジメント実施計画に位置付けている順位に影響はあるのか、との質疑に対し、建物系公共施設マネジメント実施計画の見直す時期に順位を検討することから、見直す時期によっては、順位に変更が生じる場合もある、との回答があった。

これらの審議の結果、原案のとおり、庁議に諮ることとした。

【意見等】

なし

【結果】

原案のとおり、決定する

【閉会】